

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		幼児フツ化物塗布事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	東 亜紀
	基本事業	44	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	2169
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5
		1	4	1	6	10373		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 13 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・H13年度より実施している。1歳6ヶ月から3歳までのむし歯が急増する時期に効果的なむし歯予防策として、また、歯についての知識を得る機会を増やすという目的で実施。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	①対象者：1歳6ヶ月児健診終了者～3歳児健診対象者②実施方法：1歳6ヶ月児健診・3歳児健診会場にて実施。お口の健康手帳・母子健康手帳持参。料金は無料。③実施回数：3～4ヵ月毎に計6回塗布を行ってもらう。④周知方法：1歳6ヶ月児健診時に事業の周知を行う。また、健康づくり事業計画表、出生届時・転入時に配布するチラシにも掲載。市でのフツ化物塗布が終了となる3歳児健診において、フツ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ(手作り)を配布し、啓発を行う。
【業務の流れ】	フツ化物塗布に必要な物品(塗布液等)の購入→お口の健康手帳の印刷→1歳6ヶ月児健診時に事業についての説明を行い、お口の健康手帳を渡す。歯科衛生士よりフツ化物塗布。市でのフツ化物塗布が終了となる3歳児健診においては、フツ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ(手作り)を配布し啓発。→アンケートの整理・入力。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、印刷製本費、医薬材料費)
【意見や要望】	「今後もフツ化物塗布を続けていきたい。」という保護者からの声が多数ある。まれに「フツ化物は塗布したくないのでしません。」という声もある。歯科医師からも、むし歯予防のためにもぜひこの事業を継続してほしいという声が多い。また、一部より、幼稚園や保育園におけるフツ化物洗口についても、市が主体となり取り組みを始めてほしいとの意見あり。今年から、市での塗布が終了となる3歳児健診にて、フツ化物塗布の継続を呼びかけるチラシの配布を開始したことについて、「とてもわかりやすい。」「こういう効果があるなら、ぜひ今後も塗布を続けたい。」という保護者からの声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
1歳6ヶ月児健診時にフツ化物塗布事業についての説明を行い、お口の健康手帳を渡す。1歳6ヶ月児健診・3歳児健診会場にて歯科衛生士よりフツ化物塗布。(3～4ヵ月毎の塗布を勧める)市でのフツ化物塗布が終了となる3歳児健診においては、フツ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ(手作り)を配布し、啓発。その後、アンケートの整理・入力。	準備として、フツ化物塗布に必要な物品の購入及びお口の健康手帳の印刷しておく。1歳6ヶ月児健診・3歳児健診会場にて歯科衛生士より塗布。市でのフツ化物塗布が終了となる3歳児健診においては、フツ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ(手作り)を配布し、啓発。塗布後はアンケート集計及び入力を行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 塗布者数(再掲)	人
	イ 開催回数
	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
1歳6ヶ月～3歳児	⇒ ア 1歳6ヶ月～3歳児の数
	人
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
むし歯にならないようにする(う歯の保有率の低下)	⇒ ア 3歳児のむし歯の保有率
	%
	イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
フツ化物塗布を行うことにより、う歯保有率に良い影響があるかを把握するため、塗布終了時(3歳児健診)におけるむし歯の保有率を成果指標として設定した。前年度より若干減少していることを見込み、平成22年度の目標値を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	人	1,770	1,645	1,745	1,722	1,845	1,945	
	イ	回	48	48	48	48	48	48	
⑤ 対象指標	ア	人	1,512	1,540	1,612	1,683	1,662	1,712	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	22.0	23.97	19.0	28.3	18.0	18.0	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円		95	98	98	98	98
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	273	95	138	37	37	37
	(A) 事業費計	千円	273	190	236	135	135	135	0
	(A)のうち指定経費	千円				0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円				0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	2	1	2	1	1
延べ業務時間		時間	390	280	390	80	390	390	
(B)人件費計		千円	1,548	1,120	1,552	318	1,552	1,552	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,821	1,310	1,788	453	1,687	1,687	0

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	幼児フッ化物塗布事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度から、市でのフッ化物塗布が終了となる3歳児健診において、フッ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ(手作り)の配布を開始した。よって、チラシの配布を始める前に比べ、フッ化物に対する知識の向上や塗布の継続につながってきている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) フッ化物塗布率のさらなる向上を図っていく。また、塗布時に行う歯科指導にもより力を入れ、各家庭の歯の健康に対する意識の向上を図る。また、効果測定を行う。啓発チラシの配布は来年度も継続して行う。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 各家庭の歯の健康に対する意識をどのように変えていくかが課題であるとする。市歯科衛生士と共に、フッ化物塗布に行う歯科指導のやり方や内容を再度検討していく。 フッ化物は劇薬であるとの考えから、保育園や幼稚園での取り組みに否定的な園もあると考えられる。フッ化物の効果測定できれば、園へお願いしていくことも考慮していく。																						